



チャレンジ！一歩前へ

郡山市立大槻小学校
学校だより No.68
令和4年 3月 3日
文責：校長 酒井 健



◇いよいよ、3月になりました。

いよいよ、今年度最終月、3月になりました。登校日は明日から数えて13日です。本当にあっという間に過ぎ去ってしまうことでしょうか。しかし、「13日しかない」と考えるのではなく、「13日もある」と考えると、「あれをしよう」「こんなこともできる」・・・この13日間の過ごし方が変わってくると思います。

「夢と希望と期待」を胸に、今年度を終了させるとともに、新年度を迎えることができるように残りあとわずかの日々を大切にしていってほしいと思います。学校では、最後の最後まで、一人一人の子どもたちのもっている力を伸ばしていけるよう努めてまいります。

◇「小さな親切」運動本部から表彰状が届きました。

学校だよりNo. 36〔R3.10.12発行〕の「校長のひとりごと」で紹介しました「すてきなお話」・・・地域にお住まいのおばあさんに親切に接して、御礼を受けた、5年1組の円谷玲南さん、遠山珂音さんです。

この優しい出来事に対して、公益社団法人「小さな親切」運動本部から、二人に表彰状が届きました。本日、TV放送で全校生の前で表彰状を渡しました。

相手を思いやる、優しくふんわりとした心、「大丈夫ですか」と声をかけた勇気、本当にすばらしいことです。

大槻小学校の子どもたちのすばらしさに触れて、心がほんのりと温くなりました。

記念撮影の時だけマスクを外しました



校長のひとりごと

今から約10年ほど前、NHKの大河ドラマで会津若松が舞台となったドラマがありました。ご覧になっていた方もいらっしゃると思います。綾瀬はるか主演「八重の桜」です。

明治元年、新政府軍との戦いにおいて、自らスパンサー銃と刀を手に、奮戦した山本八重、後の新島八重の物語です。福島県が舞台ということもあって、毎週、見ていました。この物語の中で、特に心に残った言葉は、「ならぬことはならぬものです」という八重の言葉でした。

「八重の桜」の放送が終了して、この言葉も頭から薄れていましたが、令和元年度、自分にとって初めての会津勤務【南会津】において、この「ならぬことはならぬものです」という言葉に再び出会うこととなりました。勤務した学校のある学年が、毎朝、『あいづっこ宣言』を復唱していたのです。「さすが、会津だな」「会津魂が受け継がれているんだな」・・・八重の桜の感動が、心に響きました。

やはり、心に響くのは、「ならぬことはならぬものです」という言葉です。だめなことはだめ！やっていけないことは、やってはいけない！自分を振り返り、反省しないといけないところは、しっかり反省し改善していく！・・・

子どもたちの言動について、「それはいけないこと」を見つけた時、私たち大人は、見て見ぬふりをしたり、声をかけずに見過ごしたり・・・してはいけないと思います。

大槻小学校の子どもたちには関係のない話かもしれませんが、もしも何かあった時、「ならぬことはならぬものです」を教えていきたい、伝えていきたい、そう感じています。



新島八重マスコットキャラクター「八重たん」

